

ひととき通信



平成 29 年 10 月 10 日

はじめに

当院では、ご家族の不安を少しでも軽減し精神疾患等の理解を深める機会として、ご家族を対象に毎回テーマに沿った家族教室を開催しています。今回は訪問看護師の越智主任看護師により「関わり方について～家族の対応編～」とのテーマで講演をしていただきました。また、患者様のご家族にもインタビュー形式で体験談を語っていただきました。

病気の症状や治療などについて、知識を身につけることで早期治療や再発予防につながるといわれていますので、ここで内容について少しご紹介したいと思います。

やる気を引き出す関わり方

- ・褒める
- ・認める
- ・任せる
- ・支える
- ・役割をあたえる
- ・共に考える

このように本人の長所や好きだと思っている事を活かす関わり方が大切になってきます。

また、「気をつけたい言葉」としては以下のような例があります。

- ・「情けない」
- ・「大丈夫？本当にできる？」
- ・「私がやるからあなたは何もしなくていいわよ」

見守らなければと思うあまり子ども扱いしたり、気持ちを代弁したり、世話を焼きすぎたりしていませんか？

家族インタビューからのメッセージ

・息子の精神状態が悪い時、私は文句ばかり言っていました。息子も家族に対して反抗的な態度をとる日々でした。しかし、本人が退院する際に家庭環境を出来る限り整え何事に関しても本人を褒めるようにしました。そして家事などを手伝ってくれた時は感謝の意を伝えるようにしました。このように関わり方を変えることにより息子は出来ることが増え、病気の状態が改善され、再発が防げています。



次回の家族教室は…

伊丹の家族会である「あじさいの会」の皆様より「体験談と茶話会」を予定しています。詳しくは外来等に置いてあります「家族教室について」のチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

「ひととき」とは…

北駐車場の一角にある患者様の憩いの場です。面会の時に是非ご利用ください。

